

みんなファンド 2007 年度 助成事業報告書

年 月 日

団体名	特定非営利活動法人 くりはら活性化ネット	
事業名	“ みんなでつくろう輝くくりはら！ ” 環境と共生するまちづくりに向けてのネットワーク構築	
連絡担当者名前	事務局長 三塚敬之助	
担当者	電話 E-Mail	F A X
<p>助成金を使って行った事業について</p> <p>事業の目的 栗原市は、豊かな自然と恵まれた生活環境に立地する農業を基幹産業とする田園都市です。 栗原市では、すでにまちづくりの指針とする「栗原市総合計画」と「栗原市環境基本条例」を制定しています。 総合計画では環境と共生する理想的な生活空間の創造により、市民が暮らしたいまちづくりを、環境基本条例では栗原市の良好な環境の保全と創造によって、人間と自然が共生する社会の実現を基本理念にしており、環境創造と保全がまちづくりのキーワードになっています。 すでに各地域では、市民団体・自治会・民間事業者が個別自主的に環境活動に取り組んでいます。 本事業は、これ等環境団体の活動を支援し、環境活動のつながりと広がりにより、寄与する中間支援組織設立を目的とします。</p> <p>事業の経過</p> <ol style="list-style-type: none"> 平成 19 年 11 月 26 日 環境美化ネットワーク設立準備会のスタッフ募集 <ul style="list-style-type: none"> 河北新報社、大崎タイムス社に新聞掲載の依頼 地元タウン誌「ジョイくりはら」に広告掲載依頼 市内の公共施設、公民館、主要郵便局等にポスター掲示とチラシを配布 平成 19 年 12 月 12 日 環境美化ネットワーク設立準備会スタッフ募集の文書発送 <ul style="list-style-type: none"> 市内環境団体 3 2、民間事業者 9 計 4 1 		

3. 平成 19 年 12 月 22 日 第 1 回設立準備会開催
 - ・場 所 栗原市図書館研修室
 - ・議事 1 設立準備会のスケジュールについて
 - ・議事 2 設立する団体の名称について
 - ・議事 3 設立する団体の事業年度について
 - ・議事 4 会員区分と年会費について
 - ・議事 5 環境基金の設置について

4. 平成 20 年 1 月 12 日 第 2 回設立準備会開催
 - ・場 所 栗原市一迫ふれあいホール研修室
 - ・議事 1 設立する団体の名称について くりはら環境支援機構に決定
 - ・議事 2 団体の代表者と組織・機構について
 - ・議事 3 団体が取り組む活動の内容について
 - ・議事 4 設立総会の案内と会員募集の広報について
 - ・議事 5 助成金の申請について

5. 平成 20 年 2 月 9 日 第 3 回設立準備会開催
 - ・場 所 栗原市図書館研修室
 - ・議事 1 設立総会の案内文書(案)について
 - ・議事 2 設立総会の案内文書発送先(案)について
 - ・議事 3 設立総会と会員募集の新聞掲載(案)について
 - ・議事 4 規約(案)について
 - ・議事 5 平成 20 年度事業計画(案)について
 - ・議事 6 平成 20 年度収支予算(案)について

6. 平成 20 年 2 月 16 日 第 4 回設立準備会開催
 - ・場 所 栗原市図書館研修室
 - ・設立総会次第 - 設立主旨と経過説明資料、議事、役割分担について協議調整を行った。
 - ・議事 1 くりはら環境支援機構会則(案)について
 - ・議事 2 平成 20 年度事業計画(案)について
 - ・議事 3 平成 20 年度収支予算(案)について
 - ・議事 4 役員を選出について

7. 平成 20 年 2 月 23 日 くりはら環境支援機構設立総会開催
 - ・場 所 栗原市一迫ふれあいホール研修室
 - ・参加者 市民団体 9 名 民間事業者 1 社 一般市民 8 名 行政 4 名 計 22 名
 - ・報 告 設立主旨と設立総会までの経過について説明
 - ・議 事 議事 1 会則 原案を部修正し議決
議事 2 平成 20 年度事業計画 原案どおり議決
議事 3 平成 20 年度収支予算 一部修正し議決
議事 4 役員選出 別添役員名簿のとおり選出
 - ・入会者 市民団体 8 民間事業者 6 一般市民 10 計 24

関係資料(内容は別添のとおり)

1.文書・ポスター・チラシ類

- ・設立準備会スタッフ募集と設立総会案内文書(市民団体あて)
- ・設立準備会スタッフ募集と設立総会案内のポスター(公共施設、郵便局に掲示)
- ・設立準備会スタッフ募集と設立総会案内のチラシ (" " に配布)

2.広報関係

- ・広報くりはら掲載
- ・地元タウン誌掲載
- ・地元新聞掲載
- ・みやぎ地域づくり団体協議会月刊誌「岩手・宮城県際ネットワーク」掲載

3.設立準備会資料

- ・第1回設立準備会
- ・第2回設立準備会
- ・第3回設立準備会
- ・第4回設立準備会

4.設立総会資料

5.くりはら環境支援機資料

- ・会則
- ・平成20年度事業計画
- ・平成20年度収支予算
- ・役員名簿
- ・会員名簿

6.支出仕訳表

7.領収書写し

8.写真

今回の事業によって得られた成果・効果

- ・個別に活動している環境活動団体・民間事業者をつなげる一歩になった。
- ・情報の発信により、想定していなかった民間事業者と一般市民の入会があった。
- ・環境活動団体のミッションを、活動の中間支援としており、特に助成金情報の入手が出来ず申請を苦手とする環境団体の関心と期待が寄せられた。
- ・市民活動団体と民間事業者から設立総会資料の送付依頼が多数あり、今後の会員増が期待できる。
- ・行政から活動を期待されている。

今回の事業を、今後どのように展開していくか、その際に必要なものは何か

1.今後の事業をどのように展開していくか

- ・環境活動を官民産一体で推進する「アダプトプログラム」のスタートを仕掛ける。
- ・講演会と講習会、先進地視察の実施の情報を発信し、会員増加を図る。
- ・環境関係助成金情報を発信し、希望者には申請の支援を行い会員の絆を強める。
- ・助成金を取得し、花木を育苗して会員に頒布し支援する。

2.今後の事業に必要なもの

- ・各界各層・市民の環境に対する関心を高め、環境をキーワードとした市民総参加のまちづくりの推進に向けて、行政との協働とマスメディアの協力要請。
- ・民間事業者の利益の一部を地域還元し環境団体を支援する「環境基金」又は「環境ファンド」を創設する等、活動し易い環境づくり。

助成金の使途内訳

収入の部

項 目	金額(円)	内 訳
ファンド助成金	150,000	
自己資金	11,169	
合 計	161,169	

支出の部 内訳は別紙支出仕分表のとおり

項 目	金額(円)	内 訳
通信費	38,370	情報発信、往・返信はがき
広告費	60,000	地元タウン誌2回
ポスター作成	7,886	2回 100枚
印刷費	5,970	資料印刷
会議費	4,771	会議室使用料
消耗品費	21,578	パソコン用紙、封筒、コピー紙
諸雑費	15,342	団体ゴム印、交通費
自己負担	7,252	設立準備会・設立総会飲物
合 計	161,169	自己負担額 11,169円

ファンドに寄付をいただいた方々へのメッセージ

今回のような事業は、自己資金のみでは不可能であり、又行政からは財政難から支援が期待できない現状のなか、今回みんなファンドの助成を得て、環境活動に係る中間支援組織を立ち上げたことの社会的意義は大きかったと思います。

今回設立した「くりはら環境支援機構」の会員には、市民団体 8 団体、民間事業者 6 社、一般市民 10 名の入会があり、他に総会資料の送付を得て入会を検討したいとしている民間団体と民間事業者が 14 社あり、初期の目的を達成できました。

企業の利益の一部を地域に還元する「みんなファンド」のような民間支援は、まだ栗原市にはありませんが、今回の事業が起爆剤となり、入会した民間事業者が中心となりファンド又は基金の創設が期待されます。

この度の助成に対し心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。